

# てしかが観光塾を開催

## てしかがえこまち推進協議会

観光を基軸としたまちづくりを進める、住民主体の協議会。

「誰もが自慢し、誰もが誇れるまち」がコンセプト。

## エコツーリズム

「地域ならではの特色」を地域振興や環境保全に活かしていく観光のありかたのこと。

「エコツーリズムでつなぐ持続可能なまちづくり・これからの10年を考える」と題し、「地域らしさ」を大切にしながら、ちづくりについて学ぶ平成29年度てしかが観光塾が11月10～12日の3日間、川湯ふるさと館で行われました。

同塾は、てしかがえこまち推進協議会が主催するセミナーで、今年で10回目の開催。道内のみならず、東京、和歌山など全国各地からおおよそ50人の塾生が参加しました。

講師には、国土交通省認定観光カリスマで本町のまちづくりアドバイザーを務める山田桂一郎さんをはじめ、国内外で地域振興や人口成熟問題などに関し、精力的に活動している㈱日本総合研究所 調査部 主席研究員の藻谷浩介さん、アウトドア総合ブランドの㈱モンベルで常務取締役、広報本部長を務める竹山史朗さんなど豪華な講師陣を迎え、基調講演や講義を実施。集まった塾生と、当日飛び入りで参加された皆さんが熱心に



多くの塾生が



北海道弟子屈から観光の未来を拓く



藻谷さんによる講演

に耳を傾けました。

藻谷さんによる「国立公園と釧路線の観光活用」の基調講演では、今後増加する見込みのある外国人観光客の貴重な移動手段として釧路線の重要性を説明。皆さん興味深そうにメモをとりながら聞いていました。

また、聴講だけではなく、意見交流の場として1日目の夜には欣喜湯で参加者交流会を開催。地元飲食店が地元食材を使った料理を提供し、参加者は食事を楽しみながら交流を深めました。2日目のワールドカフェでは気仙沼市や鶴居村、弟子屈高校での取り組みを紹介。参加者同士で意見交流をし、新たな気づきや発見を共有しました。

# 「ONSEN ガストロノミーウオーキング in 川湯温泉」を開催

(一社)摩周湖観光協会

一般社団法人摩周湖観光協会（中嶋康雄会長）主催による北海道で初となる「ONSENガストロノミーウオーキングin川湯温泉」が10月22日、約170人が参加して開催されました。

この聞き慣れない「ガストロノミー」とは、日本では「美食術」「美食学」と訳され、欧米で普及している、旅のスタイルのことです。その土地を歩きながら、その土地ならではの食を楽しむ、歴史や文化を知る旅に、日本が世界に誇る「温泉」をプラスした新しい体験のイベントとして開催されました。

屈斜路プリンスホテルを会場として行われた開会式では、徳永町長より参加者に対して激励のあいさつが送られ、雨の中バスで移動し、最初のガストロノミーポイントの和琴半島へと向かいました。

和琴半島のポイントでは、イモもちサンドイッチとかん酒が振る舞われ、一息ついたところで、再びバスで屈斜路コタンへ移動。次のポイントである砂湯までのウオーキングにチャレンジしました。

砂湯へ到着するころには一時強く降り続けた雨も上がり、摩周ポークの豚丼と海鮮汁で空腹と心地良い疲れを癒し、再びバスに乗りしゴール地点の川湯園地へと移動しました。

全コースをウオーキングで走破する鉄人コースにも20人程の参加者がチャレンジしました。

ゴール後は、お宿欣喜湯のロビーで手作りアイスクリームを食べて火照った体を冷やし、川湯温泉で疲れを癒し、皆さん満足した様子で帰路へ着かれました。

今後は今回の内容を検証し、次年度に繋げていきたいと考えております。

□問い合わせ／(一社)摩周湖観光協会 ☎482-2200



紅葉した木々を見ながらウオーキング



砂湯で豚丼と海鮮汁を堪能

知っていますか？援助が必要な方のためのカードです。

## ヘルプマーク・ヘルプカードを配付します！

義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に援助や配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成したマークです。

町では、12月から順次配付を開始いたしますので、必要な方はお申し出ください。

また、町民の皆さんには、このヘルプマーク・ヘルプカードを身につけた方が、困っているようであれば声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。

### ▶配付対象者

- ヘルプマーク／外見からは配慮や援助が必要と分かりにくい方
  - ヘルプカード／障がいなどがあり、周囲から手助けが必要な方
- ※ヘルプマークの配付に当たっては、手帳などの提示は不要ですが、氏名や必要な理由(障がいの有無など)について、受付時に記載していただく必要があります。

### ▶配付場所

- 役場福祉こども課社会福祉係窓口
- 川湯支所窓口

※配付の適正管理の観点から、郵送での配付は行いません。



配付予定のヘルプカード

問い合わせ先／役場福祉こども課社会福祉係 ☎482-2921 (課直通)

## てしかが野外活動スキルアップ講習会シリーズ第4回

### 「国立公園と自然公園法・アウトドアガイドが知っておくべきこと」

ーてしかがえこまち推進協議会・エコツーリズム推進部会ー

てしかがえこまち推進協議会ではエコツーリズム推進部会を中心に、昨年環境省より認定を受けた「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」に基づき、「地域ならではの特色」を生かしたエコツアーの開発や、環境保全と地域振興の仕組みづくりに取り組んでいます。

その一環として、アウトドアガイド向けの講習会をシリーズで実施していますが、今回はその第4回目のご案内です。

- ▶日 時／12月14日(木) 18時～20時
- ▶場 所／川湯ふるさと館
- ▶講 師／阿寒摩周国立公園管理事務所 管理官 萱島 拓郎 氏
- ▶テーマ／国立公園と自然公園法・アウトドアガイドが知っておくべきこと
- ▶対象・定員／町内のアウトドアガイド 先着20人
- ▶受講料／無料
- ▶申し込み締め切り／12月11日(月)までに事務局まで電話でお申し込みください。

### 申し込み・問い合わせ先

てしかがえこまち推進協議会事務局(役場観光商工課観光振興係) ☎482-2940 (課直通)